

乳癌(進行・再発)

1st Line以降

# GP療法

( )コース目

患者ID: @PATIENTID

患者氏名: @PATIENTNAME

アルコールアレルギー ※  
必ず無しを確認

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m <sup>2</sup> )
\$HEIGHT01_Doc	\$WEIGHT01_Doc	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース 21日。 Day 1、8に点滴

使用基準: 開始時; class A、2回目以降; class B  
Day 8; class C

## 《使用薬剤》

パクリタキセル (PAC): パクリタキセル (1V: 30mg/5mL, 100mg/16.7mL)

ゲムシタビン (GEM): ゲムシタビン点滴静注用「ヤルト」 (1V: 200mg, 1g)

投与量:

薬剤	標準投与量	計算値 (mg)	投与量 (mg)	投与日
パクリタキセル	100 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1, 8
ゲムシタビン	1000 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1, 8

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

10月10日 (水) 0時00分 内服 レスタミンコーワ (10mg) 5T 点滴直前に内服

① 生食 50mL + ガスター 1A + デキサート 6.6mg

15分で点滴静注

0時15分 ② 生理食塩液 100mL + グラニセトロン 1A

30分で点滴静注

0時45分 ③ 生理食塩液 250mL + パクリタキセル注 mg

DEHPを含有しない0.22μ以下のフィルター一体型輸液セットを使用する

60分で点滴静注

0.0ml

1時45分 ④ 生理食塩液 100mL + ゲムシタビン mg

30分で点滴静注

2時15分 ⑤ 生理食塩液 50mL (フラッシュ)

※ ①と③の間は少なくとも30分間隔をあけて投与

## REFERENCE

Kei Siong Khoo, Syed Hasan Manzoor Zaidi, Vichien Srimuninnimit, et al

Gemcitabine and split-dose paclitaxel or docetaxel in metastatic breast cancer: A randomised phase II study

EUROPEAN JOURNAL OF CANCER 42:1797-1806, 2006

化学療法プロトコール審査委員会承認: 2010年6月7日 更新: 2016年2月8日